

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	TOUR X		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.580	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール		

テストボール：TOUR X

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

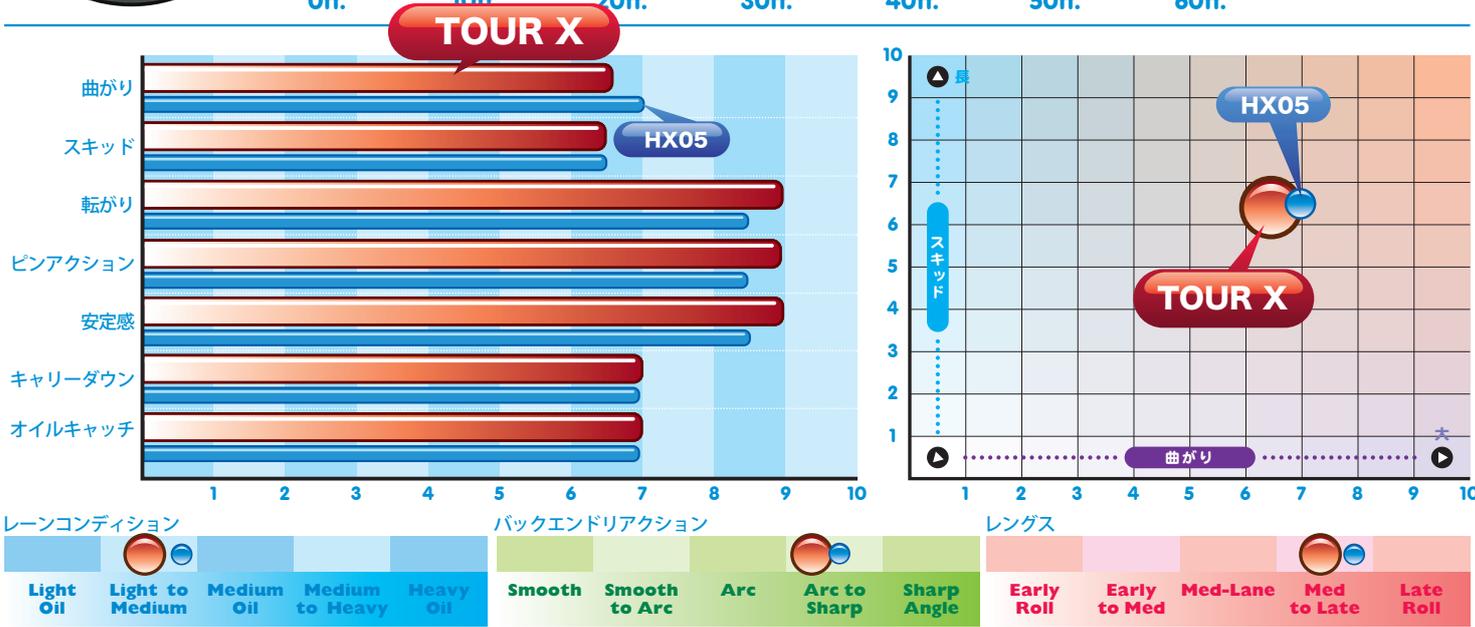
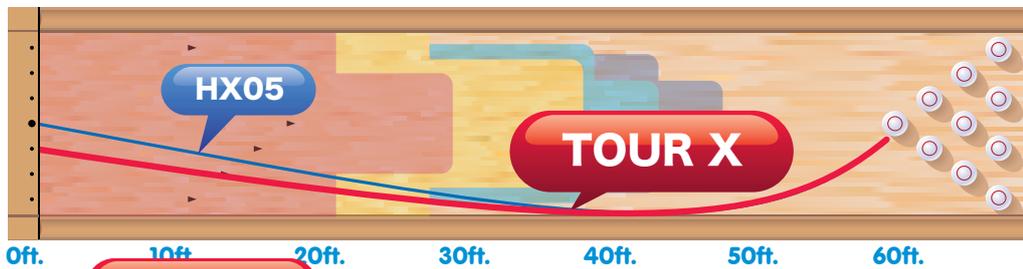
比較対照ボール：HX05

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

数年前、カバーストック競争は終焉を迎えたと思った時期からさらにカバーストックを担うケミカル開発は進み、自ずと平衡するように殆どのボールがミディアムコンディションからそれ以上の領域に収まるようになり、オイルキャッチしてしまう方向性であることは変わりありません。またこれからもその方向性は変わらないでしょう。

そんな中、TRACK社から今回発売されるTOUR Xは、ミディアムオイルから以下ライトオイル中心の非常に貴重なスペックで、リアクティブ系のボール中ではコンディションが遅くなってからほぼ最後に使うボールの位置付けであり、その中でも転がり感、扱いやすさ、ピンアクションどれをとっても高品質である、めったに出ないライト系のボールを探している方は、このボール以上のものはないと言っても過言ではありません。

300C、400A SEでも使用したDNA Core、HX05、400A SEで使用したDR-4(Delayed Response) Pearl Coverstockを採用していますが、比較投球してもこのTOUR Xが一番スキッドし、曲がりの順で400A>HX05>TOURXで曲がり幅も一番少なく感じました。、しかしただそれだけでなくこのTOUR Xは走りの中に十分な転がり感、実用性の高い扱いやすい曲がり、走り系の中では少ない柔らかいピンアクションを兼ね備えており、川添プロも報告書に「手前がスムーズで良く転がり、扱いやすいコントロールしやすい曲がりが入っている」、「スピードが不足しているボウラーに気に入って頂ける」等記載してありました。配色もBlack Diamondで落ち着いた感のある渋めのBlack配色ですので、幅広いボウラーまでこのボールを使用して頂く機会が多いでしょう。

特にリーグやトーナメントで後半戦勝負できるボールを探している方はこのボールは持たなければならないでしょう。

特記事項 ミディアムライトを中心に、スムーズな走り、転がり感、ピンアクションまで兼ね備えたボールはそうめぐりあうことは出来なんでしょう。競技ボウラーからスピードが不足がちなボウラーまで幅広く使用して頂けます。